

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 19 日 (2019.12.19)

【公開番号】特開 2018-33996 (P2018-33996A)

【公開日】平成 30 年 3 月 8 日 (2018.3.8)

【年通号数】公開・登録公報 2018-009

【出願番号】特願 2017-210482 (P2017-210482)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/16 (2006.01)

A 6 1 B 5/026 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/01 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/16

A 6 1 B 5/02 8 0 0 Z

A 6 1 B 5/00 G

A 6 1 B 5/00 1 0 1 A

A 6 1 B 5/00 1 0 1 K

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 5 日 (2019.11.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

脳機能賦活情報が提供された対象者の顔面の顔面皮膚温度データを時系列で取得する顔面皮膚温度取得手段（20）、及び／又は、脳機能賦活情報が提供された対象者の顔面を時系列で撮影した顔面撮影画像データに対して行われる RGB 処理により得られた前記顔面撮影画像データの RGB データを取得する RGB データ取得手段と、

前記顔面皮膚温度取得手段により取得された前記顔面皮膚温度データ及び／又は前記 RGB データ取得手段により取得された前記 RGB データに基づき、前記対象者の興味関心の度合いを評価する評価手段（200）と、
を備える評価装置（10、110）。

【請求項 2】

前記顔面皮膚温度データ及び／又は前記 RGB データを、少なくとも複数の時間分布（V）に対応する、複数の成分に分解する手段（30、130）をさらに備え、

前記評価手段が、前記複数の成分から抽出された判定用成分に基づいて、前記対象者の興味関心の度合いを評価する、

請求項 1 に記載の評価装置。

【請求項 3】

前記分解する手段は、前記顔面皮膚温度データ及び／又は前記 RGB データを、時間分布（V）及び空間分布（U）の複数の組に対応する、複数の成分に分解する、

請求項 2 に記載の評価装置。

【請求項 4】

前記分解する手段は、前記顔面皮膚温度データ及び／又は前記 RGB データを、特異値分解、主成分分析或いは独立成分分析により複数の成分に分解する、

請求項 2 または 3 に記載の評価装置。

【請求項 5】

前記分解する手段が、前記複数の成分のうち、その成分波形の振幅が脳の賦活時及び脳の非賦活時の変化と相関関係にある成分を判定用成分として抽出し、

前記判定用成分に基づき、前記対象者の脳活動を推定する手段、をさらに備える、

請求項 2 から 4 のいずれか 1 項に記載の評価装置。

【請求項 6】

前記顔面皮膚温度取得手段及び／又は前記R G B データ取得手段は、前記対象者の顔面の副鼻腔周辺及び／又は前額部の前記顔面皮膚温度データ及び／又は前記R G B データを少なくとも取得する、

請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の評価装置。

【請求項 7】

前記顔面皮膚温度取得手段及び／又は前記R G B データ取得手段は、複数の前記対象者の前記顔面皮膚温度データ及び／又は前記R G B データを一括して取得する、

請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の評価装置。

【請求項 8】

前記評価手段は、

前記対象者の脳活動に基づき前記対象者の集中度合いを解析する解析部（201）と、

前記対象者の集中度合いに関する情報を、前記評価手段の管理者へと報知する報知部（202）と、
を有する、

請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の評価装置。

【請求項 9】

請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の評価装置と、

予め設定した調査期間毎に前記評価手段によって評価された結果を記憶するマーケット調査記憶手段と、

を備える、マーケット調査装置。

【請求項 10】

請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の評価装置と、

予め設定した学習時限毎に前記評価手段によって評価された結果を記憶する学習評価記憶手段と、

を備える、学習評価装置。

【請求項 11】

商品等に関する視覚情報を表示する表示装置をさらに備える、

請求項 9に記載のマーケット調査装置。

专利名称(译)	<无法获取翻译>		
公开(公告)号	JP2018033996A5	公开(公告)日	2019-12-19
申请号	JP2017210482	申请日	2017-10-31
[标]申请(专利权)人(译)	大金工业株式会社 国立大学法人东京工业大学		
申请(专利权)人(译)	大金工业株式会社 国立大学法人东京工业大学		
[标]发明人	新井潤一郎 後藤尚志 岩亀誠 日野健一 平野智也 小谷泰則 大上淑美 戸松太郎		
发明人	新井 潤一郎 後藤 尚志 岩亀 誠 日野 健一 平野 智也 小谷 泰則 大上 淑美 戸松 太郎		
IPC分类号	A61B5/16 A61B5/026 A61B5/00 A61B5/01		
CPC分类号	A61B5/01 G06Q30/02 G06Q30/0203 G06Q30/0245 G06T7/0012 G06T2207/10048 G06T2207/30088		
FI分类号	A61B5/16 A61B5/02.800.Z A61B5/00.G A61B5/00.101.A A61B5/00.101.K		
F-TERM分类号	4C017/AA11 4C017/AA16 4C017/AB06 4C017/AC28 4C017/BB12 4C017/BC11 4C038/PP03 4C038/PS00 4C117/XB17 4C117/XD05 4C117/XE16 4C117/XE43 4C117/XE48		
优先权	2015203356 2015-10-15 JP		
其他公开文献	JP2018033996A		

摘要(译)

要解决的问题：在评估装置中容易地估计大脑活动，以基于大脑活动评估受试者的兴趣程度。 解决方案：评估装置10包括面部皮肤温度获取装置20，大脑活动估计装置30和评估装置200。面部皮肤温度获取装置20按时间顺序获取面部皮肤温度数据。面部皮肤温度数据包括从受试者的面部检测的皮肤温度数据和检测到的部位的位置数据。大脑活动性估计装置30基于通过奇异值分解，主成分分析或独立成分分析来分解面部皮肤温度数据而获得的多个成分来估计对象的大脑活动。评估装置200基于由大脑活动估计装置30估计的受试者的大脑活动来评估受试者的感兴趣程度。

